

令和 2 年度 事業計画

1 教育支援事業（母校、地域、在学生への支援）

- (1) 寄附講座（経済学部特殊講義Ⅰ）の開講（令和 2 年 10 月～令和 3 年 2 月の間で開講）。講師 5 名（各 3 回担当、計 15 回開講）、受講生は毎回 10 名を予定。意見交換等、講師・受講生意思疎通を図ることができる「ゼミナール形式」で開講する。
- (2) 経済学部との連携による学生の就職活動に対する支援の推進
就職アドバイザー（鳳陽会会員 2 人）による就職に関する個別相談、企業人事担当者及び就職アドバイザーによる模擬面接の実施
- (3) 経済学部職業会計人コースに対する支援及び助成
 - ① 職業会計人を目指す学生への柳上奨学金（給付型奨学金）の給付
 - ② 全国大学対抗簿記大会及び海外研修費用の助成
 - ③ 公認会計士試験、税理士試験合格者の表彰
- (4) 経済学部における国際交流及びグローバル人材育成に対する支援及び助成
 - ① 英会話特訓講座開講に要する経費の一部を助成
 - ② 英会話副読本購入経費の助成
 - ③ 短期海外語学留学に対する支援
- (5) 卒業生、在学生の各学年、各学科の成績優秀者及び TOEIC 成績優秀者の表彰
- (6) 教育、ゼミ活動、研究充実のための支援、助成及び講演会等の後援
- (7) 学生ゼミナール連合協議会主催の「卒業記念パーティー」への助成

2 交流事業

- (1) 山口大学同窓会活動（ホームカミングデー等）への積極的参加
- (2) 山口大学他学部同窓会及び他大学同窓会との交流の促進
- (3) 卒業時、経済学部卒業生（新規会員）へ鳳陽会紹介冊子「花なき山の…」を配付し、記念品（シャープペンシル）を贈呈。また、学生ゼミナール連合協議会主催の「卒業記念パーティー」への鳳陽会役員・会員の積極的な参加による交流の促進
- (4) 新入学生の「保護者懇談会」、学年別オリエンテーション等で「鳳陽会」の組織・活動内容等を具体的に紹介し、同窓会活動に対する理解を促進
- (5) 寮歌祭参加支部への支援（中央寮歌祭）
- (6) 本部ホームページの更新・刷新、管理・運営

3 同窓会関係事業

- (1) 新卒業生や既卒業生の動静把握、会員名簿の整理・充実に努め、会員動静の一層の把握に努める。
- (2) 各支部総会への本部からの出席や、ホームページを活用した支部に対する支援により、各支部の組織の強化に取り組む。
- (3) 各支部総会等において、山口大学、経済学部の資料及び山口地域の情報を提供する。
- (4) 各支部との連携による会員の動静管理、鳳陽会関係資料の一層の充実や、会員データの迅速な検索、抽出及び提供に努める。(会員限定)
- (5) 山口で開催される同期会等を積極的に支援する。
- (6) 鳳陽会の厳しい財政状況の改善の一方策として、会員の誰からも寄付金を受け入れることができる郵便局の「払込通知票」を配付し、会員から寄附を募る。
- (7) 通常総会を次のとおり開催する。

令和2年度：第90回通常(全国)総会、6月6日(土)、山口市の鳳陽館会議室で開催

4 会報発行事業

内容の充実を図るとともに、会員及び学生からも親しまれる、読みやすい機関誌「鳳陽」を目指して、従前どおり、年3回発行、編集する。

- (1) 第169号(5月発行)は、従来どおり海外会員を含む全会員に送付
- (2) 第170号(9月発行)・第171号(1月発行)は、当会の財政状況を踏まえ、正会員(年会費納入会員及び賛助会費納入会員)のみに送付
- (3) 経済学部の教官(現・旧)や在学生、大学本部、他学部同窓会、他大学同窓会等に配付・送付

5 本年度の重点施策(再掲)

鳳陽会の組織運営体制を強化し、鳳陽会活動の活性化を図るため、引き続き「アンケート結果に基づく具体策への取組」を進める。

(1) 組織運営体制の強化

同窓会活動の基本である会員の動静把握に努めるとともに、支部組織の強化・再編に取り組み、鳳陽会の組織運営体制の強化を図る。

(2) 鳳陽会活動の活性化

支部活動の支援、ホームページの刷新・活用、会員からの寄付金の募集、機関誌「鳳陽」の内容の充実を始めとする「アンケート結果に基づく具体策への取組」に掲げた各具体策の取組を進め、鳳陽会の同窓会活動の活性化を図る。

令和2年度収支予算

(単位：円)

科目	当年度予算	前年度予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,346,000	3,455,000	△ 1,109,000
受取入金	6,800,000	6,800,000	0
受取会費	3,200,000	3,200,000	0
受取寄付金	1,300,000	100,000	1,200,000
受取広告料	460,000	560,000	△ 100,000
受取利息	94,000	5,000	89,000
雑収入・その他	4,600,000	4,070,000	530,000
経常収益合計	18,800,000	18,190,000	610,000
(2) 経常費用			
① 事業費	15,260,000	16,204,000	△ 944,000
給料手当	3,290,000	3,480,000	△ 190,000
福利厚生費	514,000	505,000	9,000
教育援助費	6,140,000	6,140,000	0
情報交流費	870,000	1,570,000	△ 700,000
減価償却費	500,000	521,000	△ 21,000
通信運搬費	1,430,000	1,420,000	10,000
消耗品費	40,000	50,000	△ 10,000
「鳳陽」刊行費	1,360,000	1,450,000	△ 90,000
同窓会事業費	920,000	900,000	20,000
光熱水料費	196,000	168,000	28,000
② 管理費	5,100,000	4,852,000	248,000
給料手当	1,426,000	1,434,000	△ 8,000
福利厚生費	211,000	220,000	△ 9,000
会議費	160,000	150,000	10,000
旅費交通費	691,000	680,000	11,000
通信運搬費	450,000	400,000	50,000
減価償却費	215,000	223,000	△ 8,000
消耗品費	60,000	50,000	10,000
消耗品什器備品費	80,000	80,000	0
修繕費	300,000	40,000	260,000
光熱水料費	84,000	72,000	12,000
賃借料	690,000	700,000	△ 10,000
租税公課	283,000	273,000	10,000
雑費	450,000	530,000	△ 80,000
経常費用合計	20,360,000	21,056,000	△ 696,000
当期経常増減額	△ 1,560,000	△ 2,866,000	1,306,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(1) 経常外費用			
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,560,000	△ 2,866,000	1,306,000
一般正味財産期首残高	47,903,782	50,769,782	△ 2,866,000
一般正味財産期末残高	46,343,782	47,903,782	△ 1,560,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減高	△ 4,600,000	△ 4,000,000	△ 600,000
指定正味財産期首残高	166,300,000	170,300,000	△ 4,000,000
指定正味財産期末残高	161,700,000	166,300,000	△ 4,600,000
III 正味財産期末残高	208,043,782	214,203,782	△ 6,160,000

注) 上記収支予算(案)は、平成20年会計基準の損益ベースで作成